

一九四一年

南洋廳

駐留南洋廳長官

第五四四一號

起	接	受	昭	和	年	月	日
案	昭	和	八	年	十	月	十
施	行	昭	和	八	年	十	月
完	結	昭	和	八	年	十	月
日	日	日	日	日	日	日	日

決裁 昭昭和拾八年十月廿四日

書

合

送

發

人事課長 田中

衆

海軍少佐 長

長

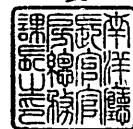
駐留南洋廳長官 田中

本月初十日附東京丸搭客船才口三神ヲ以テ
大東臣省

東人秘第三〇六號

昭和十八年十二月二十四日

南洋廳長官官房總務課長



大東亞大臣官房人事課長 殿

十二月十七日附官人第五四四一號ヲ以テ常廳技手後藤達夫ヲ定員外トシ
テ第八海軍軍需部附トセシメル件差支無之候ニ付可然御取計相煩辱此段
及回答候

尚同人ヲ常廳技師ニ陞格ノ件ハ内申中ニ付爲念申添候

日本標準規格 B5

南洋廳

大正一三	三三一	自今月給四十五圓ヲ給フ	宮崎縣立高鍋農學校助教心得ヲ命ス	宮崎縣
"	九三〇	自今月給三十七圓ヲ給ス	月俸五十三圓給與	"
"	三三一	月給四十九圓ヲ給ス	同校剣道教師ヲ囑託ス 月手當八圓給與	"
"	九三〇	月給五十一圓ヲ給ス	宮崎縣立高鍋農學校教諭心得ヲ命ス	"
"	九三〇	月給五十三圓ヲ給ス	九級俸給與	"
昭和二	九三〇	月給五十五圓ヲ給ス	月俸六十圓給與	"
"	一、二	助手ヲ命ス	願ニ依リ本職ヲ免ス	"
"	"	月給五十五圓ヲ給ス	願ニ依リ囑託ヲ辭ク	"
"	"	拓殖課勤務ヲ命ス	雇ヲ命フ 月給三十八圓ヲ給ス	"
"	三三一	月給五十七圓ヲ給ス	月給四十一圓ヲ給ス	"
"	三一、一六	昭和三年勅令第百八十八號ノ旨ニ依リ大禮記念	任陸軍歩兵少尉	"
"	五	章ヲ授與セラル	敘正八位	"
"	八一二	月給六十圓ヲ給ス	農務課種藝係勤務ヲ命ス	"
"	"	任南洋廳技手	自今月給四十三圓ヲ給ス	"

南洋廳

履歴書野紙(乙)

接 起		受 案		昭 和		年 月 日		施 行		昭 和		年 月 日		完 結		昭 和		年 月 日	
昭和十八年十二月十七日		昭和十八年十二月十七日		昭和十八年十二月十七日		昭和十八年十二月十七日		昭和十八年十二月十七日		昭和十八年十二月十七日		昭和十八年十二月十七日		昭和十八年十二月十七日		昭和十八年十二月十七日		昭和十八年十二月十七日	

第 四 一 號

決 裁 昭 和 十 八 年 十 月 七 日

書 淨 合 校 送 發

人事課長

次 官

大 東 臣 省

昭和十八年十二月十七日

大 東 臣 省

八海軍軍需部附トシテ取方取計陸海
軍省トシテ中越ニ付テハ貴座ニ於ケル由差支
ノ煩宜立免由同窓別必陸軍省ト
是テ由差支トキ節ハ同人應務書三部中
並附和物陸

南村庭子 記
佐藤 達夫

附箋陸

李中陸軍花全蘇省陸軍中陸軍方平就
和物陸

(李中陸軍花全蘇省陸軍中陸軍方平就
和物陸)

(此案用紙三張ノ二)

規格-B5 (東東489)

官房人機密第一〇二二號
昭和十八年十二月十日

大東亞次官殿
海軍次

定員外配屬者ニ關スル件照會
左記ノ者明治三十八年勅令第四十三號ニ依リ第八海軍軍需部附トシテ
配屬方取計度候ニ就テハ貴省ニ於ケル御差支ノ有無至急御回答相成度

記
大東亞省抄手 後 藤 達 夫

① 橋本 久 (花崎 原)

18.12.13
18.12.14

海軍

接 受	昭 和	年	月	日	決 裁	昭 和	19.18.	日	書 淨
起 案	昭 和	19	年	月	施 行	昭 和	19.18.	日	完
									結 昭 和
									年
									月
									日

人事課長
 南澤廳秘書課長宛
 人事課長
 配屬者發令通知1件
 左記1通發令相成タルニ付此段申進候

記

南洋廳技師

後藤 達夫

第八海軍軍需部附ヲ命ス

(昭和十九年一月四日)

海軍省)

「出案用紙三號ノ三」

規格一B5 (東東489)

REEL No. A-1223

0020

アジア歴史資料センター

人秘第一號ニミ

昭和十九年一月 六 日

大東亞大臣官房人事課長

海軍省人事局第一課長

配屬者發令ノ件通知

左記ノ通發令セラレ候

記

南洋廳技師

後藤達夫

第八海軍軍需部附ヲ命ス

(昭和十九年一月四日)

海軍省

(終)

海軍

(花崎)